

ハンセン病市民学会

第11回総会・交流集会 in 東京・駿河

2015年5月9日(土) 日経ホール(東京・大手町)

5月10日(日) 多磨全生園(東村山市)

駿河療養所・神山復生病院(御殿場市)

主催 ハンセン病市民学会

ハンセン病問題の前で、一度でも立ち止まってみたあなた、
少しでも考えてみようと思ったあなた、
そんなあなたであれば、どなたでも参加は自由です。
ハンセン病問題には、まだまだ大きな課題があります。
私たちは今、光を見失ったかのような時代の大きなうねりの中で、
どういう社会に生きたいのか、どういう社会を願うのか、
どんな生き方を選びたいのか、
真剣に考えなくてはならない曲がり角に立っています。
ハンセン病問題は、私たちの心の扉を開いていくための光であり、
一人ひとりの考える力、行動する力が試される課題でもあります。
交流集会は、一人ひとりが自分の問題として考える場であり、
みんなが集い、出会う場です。
ぜひご参加ください。

会員以外の皆様のご参加も歓迎いたします。

- ・参加費：1,500円(2日間共通) 高校生以下は無料
5月9日のレセプション参加費 6,000円(事前申込制)
- ・弁 当：必要な方は別紙「参加申込書」にて必ずご予約下さい。(当日受付はありません)
- ・参加申込先：西鉄旅行(株)東京支店 担当 大串、小野、西原/申込締切 3月31日(火) 必着
TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
交通、宿泊、弁当など、予約はすべて、別紙「参加申込書」で、必ず西鉄旅行東京支店にお申し込みください。
申込書が必要な方は実行委員会までご連絡ください。
- ・問い合わせ先：東京・駿河集会実行委員会(水野法律事務所) TEL: 03-3358-4472
FAX: 03-3358-4473
Eメール: mizuno64@mbc.ocn.ne.jp

第11回ハンセン病市民学会総会・交流集会 in 東京・駿河
全体テーマ バトンをつなごう —当事者運動と市民のかかわり—

●5月9日(土)

■会場 日経ホール(日経ビル3階)

1. 開会(13:00~13:30)

〈全敬称略〉

- 主催者挨拶 鎌田 慧(ハンセン病市民学会共同代表)
佐川 修(東京・駿河集会実行委員長)
歓迎挨拶 東京都知事(交渉中)
東村山市長
ゲスト挨拶 李 吉龍(韓国ハンセン総連合会会長)
周 富子(台湾楽生保留自救会会長、IDEA Taiwan 理事長)

2. 総会(13:30~14:10)

2014年度活動・決算報告 新運営委員紹介 2015年度活動方針・予算案

<休憩 14:10~14:20>

3. 交流集会(14:20~17:00) *全体会 ★第1日のみ全体会には手話通訳がつきます。

第1部 報告「ハンセン病問題の現状と課題」(14:20~15:30)

徳田靖之(弁護士)
坂元茂樹(同志社大学教員)

第2部 シンポジウム「バトンをつなごう—当事者運動と市民のかかわり」(15:30~17:00)

コーディネーター 宮坂道夫(新潟大学教員)
パネリスト 森 和男(全療協会会長)
青木美憲(邑久光明園副園長)

4. 全原協・全療協・弁護団・ハンセン病市民学会 主催

国賠訴訟勝訴14周年レセプション(18:00~20:00) *事前申込制
会場 カンファレンスルーム&セミナールーム(日経ビル6階)

●5月10日(日)

1. 分科会

■会場 多磨全生園(東村山市)

*10:00~13:00(資料館の開館に合わせて、分科会Aのみ10時に開始します。)

【分科会A】国際連帯

■会場 ハンセン病資料館映像ホール

テーマ:韓国・台湾におけるたたかいに学ぶ

~東アジアにおけるハンセン病回復者の連帯強化を目指して~

第1部 報告(10:00~11:50)

徳田靖之(日本弁護団)、崔 光鉉(韓国ハンセン総連合会専務理事)、朴 永立(韓国弁護団)
青年楽生聯盟代表、蔡 雅滢・陳 孟秀(台湾弁護団)、周 富子(台湾楽生保留自救会会長)

第2部 討論(12:00~13:00)

コーディネーター 福岡安則(社会学者)
アドバイザー 坂元茂樹(同志社大学教員)
パネリスト 崔 光鉉(韓国ハンセン総連合会専務理事)
朴 永立(韓国弁護団)
周 富子(台湾楽生保留自救会会長、IDEA Taiwan 理事長)
徳田靖之(日本弁護団)

★分科会終了後に全生園内の一般介護棟で、昼食を一緒に交流しましょう。参加自由

*9:30~12:30 分科会 B、C、D の開始は9時30分です。

【分科会 B】教育

■会場 中央集会所

テーマ：教育の加害責任と未来への課題

～ともに考え、学び、伝えつづけるために～

司会（コーディネーター） 江連恭弘（法政大学第二高等学校教員）
パネリスト 森元美代治（退所者、IDEA ジャパン理事長）
秀嶋ゆかり（弁護士）
佐久間建（都立武蔵台学園府中分教室教員）
藤田孝志（岡山県備前市日生中学校教員）
延 和聡（盈進中学高等学校教員）

【分科会 C】家族

■会場 福祉会館

テーマ：いま初めて語る家族の思い

コーディネーター 国宗直子（弁護士、れんげ草の会会員）
パネリスト 黄 光男（れんげ草の会会員）
黒坂愛衣（東北学院大学教員）
その他（交渉中）

【分科会 D】自治体

■会場 コミュニティーセンター（公会堂）

テーマ：自治体との連携

コーディネーター 近藤 剛（弁護士）
パネリスト 佐川 修（多磨全生園入所者自治会長）
石山春平（退所者、あおばの会会長）
東村山市長
武久顕也（瀬戸内市長）
熊本県担当者（健康福祉部健康づくり推進課）

【分科会 E】駿河療養所・神山復生病院を訪ねて バスツアー

コーディネーター 訓覇 浩（市民学会共同代表）
集会登壇者 小鹿美佐雄（駿河療養所自治会長＝あいさつ）
福島一雄（駿河療養所長）
佐藤健太（編集者、ハンセン病文学読書会主宰者）
その他（交渉中）

2. 昼 食 12:30~13:00

3. 各種企画

13:00~14:00 まで

◆園内フィールドワーク（ハンセン病資料館と花さき保育園見学を含む）

ガイド ・森元美代治（退所者、IDEA ジャパン理事長）・荻野浩毅（首都圏市民の会）
・平沢保治（全生園入所者）・柴田隆行（東洋大学教員）

13:30~15:30

◆特別企画 「学生・市民入門講座～学生・地域の皆さん大歓迎」

■会場 コミュニティーセンター（公会堂）

講師・コーディネーター 西尾雄志（早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター教員）
パネリスト 藤沢真人（FIWC 関東委員会）
早稲田大学チャオ
森田 紅（花さき保育園長）
青年楽生聯盟代表（交渉中）

*学生たちの活動を同会場で展示します。 *参加費無料

■送迎バス

以下の送迎バスは有料で、事前予約制です。
別紙「参加申込書」をご覧ください。

9日夜 レセプション会場から池袋周辺のホテル

・ホテルグランドシティ 東京都豊島区東池袋 1-30-7 TEL 03-3984-5121

・サンシャインシティプリンスホテル 東京都豊島区東池袋 3-1-5 TEL 03-3988-1111

10日朝 7:30 出発 <多磨全生園 行き> サンシャインシティプリンスホテル集合

10日朝 7:30 出発 <駿河療養所と神山復生病院行き> サンシャインシティプリンスホテル集合

10日午後 15:00 出発 <多磨全生園から羽田空港行き> ショッピングセンター裏 駐車場集合

日経ホール&カンファレンスルーム

東京都千代田区大手町 1-3-7 TEL 03-6256-7686

多磨全生園

東京都東村山市青葉町 4-1-1 TEL 042-395-1101

ハンセン病市民学会ホームページ <http://shimingakkai.com/> 申込書もあります。



1日目会場●日経ホール



会場へのアクセス

●日経ホール&カンファレンスルーム

1. 1日目の会場は、日経ホール（日経ビル3階）、レセプションの会場は、カンファレンスルーム（日経ビル6階）
※隣に、JAビルと、経団連ビルがあり、迷いやすいので要注意。会場は日経ビル。
2. 地下鉄の方は、竹橋の4番出口と、大手町のC2b出口に、案内の人員配置があるので、必ず、これらの出口を目指して下さい。
3. 羽田空港から来る方は、空港から京急線で日本橋まで行き、日本橋で東西線に乗り換えて、竹橋で降りるのが一番分かりやすい。ぜひこのルートをご利用下さい。
4. JR東京駅の方は、丸の内北口に出ること。丸の内北口から歩くと日経ホールまで15～20分。
なお、東京駅近くの「新丸ビル」からは、無料の「丸の内シャトル」が出ており（車いす可）、日経ビルで下車できます。バスの間隔は15分程度。詳しくは下記のURLでご確認下さい。
<http://www.hinomaru.co.jp/metrolink/marunouchi/index.html>

2日目会場●多磨全生園



●多磨全生園

- 西武池袋線 清瀬駅南口から西武バス久米川駅行き・所沢駅行きで約10分（「ハンセン病資料館」で下車）
- 西武新宿線 久米川駅北口から西武バス清瀬駅南口行きで20分（「ハンセン病資料館」で下車）
- JR 武蔵野線 新秋津駅から西武バス久米川駅行き10分（「全生園前」下車）